



がっこう 学校だより

がっこう
10月号



**Challenge
Dream
Interaction**

れいわ ねん がつ にち
令和2年9月30日
よこはましりつかみいだしょうがっこう
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

り だい じ だい 1人1台の時代に

こうちょう よこやまよしあき
校長 横山 美明

あつ ひ つづ
暑い日が続いておりましたが、ようやく涼しくなり秋めいてきました。子ども達は10月2日に行われる「SD上小会～絆～」に向けて準備を進めているところです。例年の運動会とは違うので、演技の中でも大きな声を出したり集めて決めのポーズをしたりすることはできませんが、限られた条件の中で精一杯のパフォーマンスが披露できるよう頑張っているところ。一旦は中止になり本来であればできなかった運動会を集会的な授業参観という形で6年生が提案・企画してくれた会ですので、ぜひ成功させてあげたいと思います。

さいきん
さて、最近「GIGAスクール構想」という言葉がよく聞かれます。これは2019年12月に文部科学省が打ち出したもので、「児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想」です。文部科学省の調査では、2020年3月時点での学校現場における学習者用端末の導入台数は児童生徒5.4人に1台程度と日本の学校ICT環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きいのが現状だということです。この課題に対し、文部科学省では2023年度までに義務教育段階にある小学1年生から中学3年生の児童生徒向け学習用端末を1人1台導入し、高速大容量の通信ネットワークを整備し、資金面も補助するとしています。ところが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言を受け、2020年4月には文部科学大臣がGIGAスクール構想を早期実現するための支援などを積極的に推進すると表明しました。

よこはまし
横浜市でも「横浜におけるGIGAスクール構想」が策定され、今年度中にも1人1台の端末環境になる予定です。それに向けて、校内のどこにいてもWi-Fiに接続できるようにアクセスポイントが設置されたり各教室に1クラス分の充電ができるようにするための大型の充電保管庫が整備されたりと環境が整備されることになっています。また、導入された端末を使って授業が始められるように、教材が用意されたり教職員が研修を受けたりといった準備も進められています。

ただし、どんなに環境が整えられたとしてもそれを使うのは人です。オンラインで授業ができるようになって、ネットワークの向こうにいるのはやはり人です。そういった意味で機械に使われることがないように、正しい知識を身に付け、使い方や情報を扱う上でのマナーやモラル等についてもしっかりと指導していきたいと考えております。ご家庭でもネットの向こうに人がいるということを踏まえて、お子様と話し合っただけだとありがたいです。